

川村学園女子大学 科学研究費補助金等の謝金についての取扱い

謝金とは、当該研究を遂行するための資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配付、研究資料の収集、社寺・仏閣等で資料を閲覧した場合等、当該研究のために協力を得た者への謝礼に要する経費とする。

1. 謝金の単価

謝金の支出に当たっては、次に示す金額を参考にする。ただし、これによりがたい場合は、常識の範囲を超えない妥当な根拠により積算した額とする。

- (1) 資料整理、実験補助等（研究室での研究補助）
1日当たり、おおむね 7,600 円（1日の勤務時間はおおむね8時間として計算）
- (2) アンケート配付・回収、資料収集（旅行を伴うもの）
1日当たり、おおむね 7,600 円＋旅行に要した実費
- (3) 翻訳・校閲（本業等でない者に依頼した場合）
翻訳－日本語 400 字当たり、おおむね 4,800 円
校閲－日本語 300 語当たり、おおむね 2,600 円

2. 謝金に関する留意点

- (1) 謝金により業務を依頼する場合には、必ず事前に本人に業務内容を説明し、了解を得たうえで業務を行わせること。
- (2) 研究室等に一定期間出勤して資料整理を行う場合には、「出勤表」を整備すること。
なお、謝金とは別に通勤手当等を支出することはできない。
- (3) 外国において研究を行うために必要な謝金の単価については、当該国における通常の価格をよく調査し、過当の支払いとならないよう十分注意すること。

3. これによりがたい場合は、別途会計責任者と協議する。

附 則

この取扱いは、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。